

2023年3月3日
南海電気鉄道株式会社

－ 「統合報告書2022」が外部機関から高く評価 －

①日経統合報告書アワード「優秀賞」を受賞

②GPIF の国内株式運用機関が選ぶ「改善度の高い統合報告書」に選定



南海電気鉄道株式会社（代表取締役社長：遠北 光彦）の統合報告書「南海グループ統合報告書2022」が、日本経済新聞社主催「日経統合報告書アワード2022」にて「優秀賞」を獲得したほか、年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）の国内株式運用を委託している機関が選ぶ「改善度の高い統合報告書」に選定されました。

当社グループは、今後もステークホルダーの皆さまに、より一層当社理解を深めていただけるよう、情報発信を積極的に行ってまいります。詳細は、以下のとおりです。

<参考>

- ◆日本経済新聞社主催「日経統合報告書アワード2022」企画概要

<https://adnet.nikkei.co.jp/a/nira/index.html>

- ◆GPIF の国内株式運用機関が選ぶ「優れた統合報告書」と「改善度の高い統合報告書」

https://www.gpif.go.jp/esg-stw/20230222_integration_report.pdf

1. 「日経統合報告書アワード2022」とは

「日経統合報告書アワード」とは、日本企業が発行するアニュアルレポートの更なる充実と普及を目的に、1998年から「日経アニュアルレポートアワード」として毎年開催されてきましたが、2021年に「日経統合報告書アワード」へ改称され、国内外の市場で ESG(環境・社会・企業統治)投資を活性化するツールである統合報告書を審査・評価し、事業会社の情報開示のレベル向上を支援しています。

2022年度は第2回として実施され、日本経済新聞社によると、2021年度実績である290件の約1.3倍となる387件のエントリーがあるなど、国内最大の統合報告書に関する審査となっています。

2. GPIFの国内株式運用機関が選ぶ「改善度の高い統合報告書」とは

GPIFは、国内株式の運用を委託している運用機関に対し、「優れた統合報告書」と「改善度の高い統合報告書」について選定を依頼し、選出しています。今回の調査では、「改善度の高い統合報告書」として95社(前回100社)が選ばれました。

参考. 南海グループ統合報告書2022

南海グループ統合報告書は、ステークホルダーの皆さまに当社グループの中長期的な企業価値向上を目指す取り組みをお伝えすることを目的として、2021年度から発刊しています。2回目となる今回(2022年度)の制作ポイントとしては、主に以下の3点です。

ポイント①: 2022年3月策定の『新中期経営計画「共創 140 計画」』と、

2021年4月策定の『サステナブル重要テーマ(マテリアリティ)』を全体構成の軸に設定したこと。

ポイント②: これまでのステークホルダーの皆さまとの対話を踏まえ、

『事業別戦略』などの不足していた情報の開示の充実を図り、

ポイント③: 当社グループの価値創造の代表例である『「グレーターなんば」構想の特集』や

ガバナンス強化を総括する『社外取締役鼎談』の記事を新設したこと。

引き続き、適時・適切かつ公正な情報開示を行い、ステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションの充実を図っていきます。



◆南海電鉄公式ウェブサイト「統合報告書」ページ

https://www.nankai.co.jp/ir/library/integrated_report

◆南海グループ統合報告書2022(PDF)

https://www.nankai.co.jp/lib/company/ir/library/integrated_report/pdf/integratedreport2022_all.pdf